

# 講座実施報告書

講座名	区民企画運営委員養成講座 「みんなの力で講座をデザインしよう！」 ～企画の立て方と仲間づくりのコツを学びます～		
開催場所	青葉区役所 会議室		
参加者	延べ151人(男性 37人、女性 114人)		
開催内容	日時	内容	講師
	平成30年 ① 1/11(木) ② 1/18(木) ③ 1/25(木) ④ 2/1(木) ⑤ 2/8(木) ⑥ 2/15(木) 10:00～12:00	① みんなと学ぶ場を作ろう ② 青葉区を知ろう ③ ～ ⑥ 企画を立ててみよう	① 有元典文氏(横浜国立大学教授) ② 区政推進課、地域振興課  ③ ～ ⑥ 竹迫和代氏 (参画はぐくみ工房 代表)

## 第1回 みんなと学ぶ場を作ろう

「やる気」は「人の中」にではなく「場の中」にある、有元先生から説明がありました。「インプロ」というゲームを通して、相手を気にかけてたり動きをみて気持ちを押し量ることを体験しました。人と関わって作る場の楽しさを実感してもらえたようでした。先生からのメッセージ「上手くやることより皆で楽しくやるのが大切」は皆さんの胸に大きく響いたようでした。



## 第2回 青葉区を知ろう

まずは各テーブルで名立てを使って自己紹介。「青葉区の好きなおところ」「青葉区にひとこと言いたいこと」の項目で盛り上がりました。次に区政推進課・石田係長より、青葉区の特徴についてお話がありました。休憩をはさみ「たくさんの人と話す」ことを目的にワールド・カフェ方式の話し合いを体験しました。最後のテーマ「こんな学習の場を作りたい」では熱く語る人が続出し、あっという間の2時間でした。



## 第3回 企画を立ててみよう①

今日から竹迫先生と一緒に企画を考えていきます。1人1分で「企画してみたいテーマ」を発表しました。同じ思いの人がいて安心したり、全く違う考えの発表を聴いて刺激を受けたりと「何となく」参加した人も自分の中で企画を具体化することができたようでした。発表後は一緒にやってみよう人の近くに座るよう声掛けがありましたが、大人数のところもあれば、仲間が集まらないところもあり混沌としていました。次週に向けて企画を練り直すことが宿題となりました。



#### 第4回 企画を立ててみよう②

前回の欠席者ともう一度PRして仲間を作りたい人のプレゼンタイムから始まりました。これによりメンバーの入れ替わりもあり、6つのグループに分かれて話を進めました。それぞれが思いを語り過ぎる場面も見受けられ、距離感をとることが難しそうでした。自分の「やってみたい」気持ちと「仲間とやりたい」気持ちのバランス感覚は時間がかかることと思います。「まだアイデア出しの段階なので焦らずゆっくり進めてください。」と呼びかけました。



#### 第5回 企画を立ててみよう③

今日はグループ内で話し合うことに重点をおきました。前回と変わらないメンバーに打ち解けてきたようで話が弾み、明るい雰囲気になりました。先生より「講座を考える時には縦軸に「考程」(メインテーマ)と横軸に「活程」(各回のテーマ)を意識して盛り込んで下さい。」とアドバイスがありました。初めて聞く言葉に、神妙な顔つきでメモを取る姿が目立ちました。企画を表面的に考えるだけでなく、テーマを忍ばせる深さを感じたようでした。



#### 第6回 企画を立ててみよう④

前半は先週に引き続き企画を仕上げ、後半は模造紙に書き写しました。各グループの3分間プレゼンでは、熱のこもったPRが続きました。企画を掘り下げるほど「実現させたい！」思いが強くなっていくことを感じました。休憩の後には各グループで企画を説明する人を一人残し、他の人はそれぞれの企画に対してアドバイスや感想・エール等を付せん書き出しました。周りから意見をもらえたことが新たな糧となり益々やる気が湧いてきたようでした。講座後のアンケートに「他の人の意見が聞いて参考になった」という感想が続き、「みんなで作り上げる楽しさ」を実感できたようでした。



今年は昨年より講座回数を1回増やし全6回、開始も年明け早々の1月11日からでした。参加者が集まるか、不安はありましたが25人の参加がありました。そのうち17人が30代~40代の女性で、若い世代で地域を盛り上げたいという意欲を感じました。昨年より取り入れた有元先生の「場づくり」から始まる構成は今年も好評で、初対面の緊張した空気が一気に崩れる瞬間を体験してもらえます。「みんなとやる楽しさ」を体感してもらうことで、竹迫先生の「企画の立て方」にスムーズに入っていきます。有元先生の流れを引き継ぐ竹迫先生は穏やかで優しい中にも的確なアドバイスがあり、お2人の絶妙なバランスを感じます。この流れを壊さず実践へと進めていきたいと思えます。(担当)